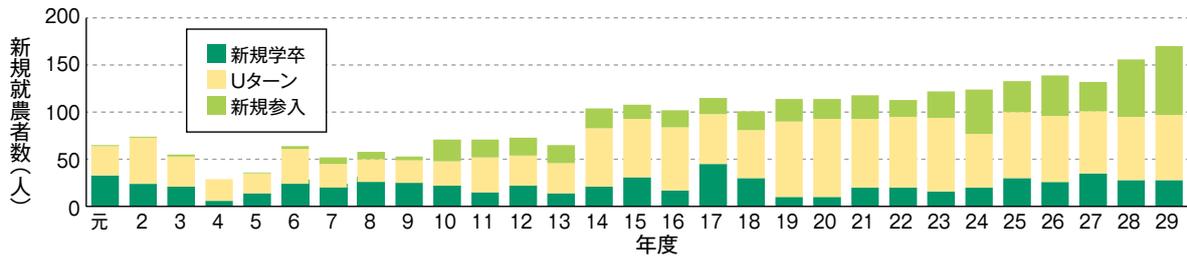
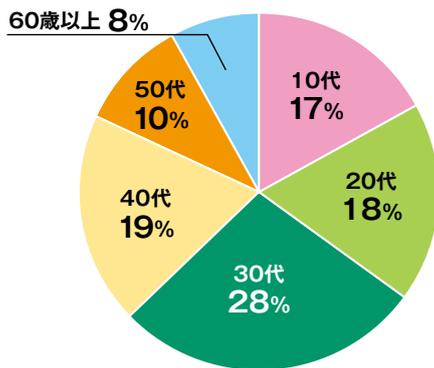


岡山県における新規就農者の確保状況について

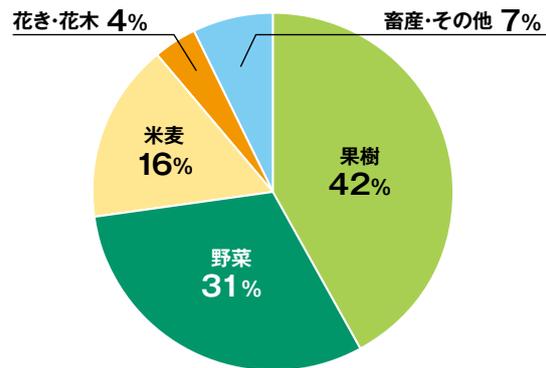
1 岡山県の新規就農者の推移



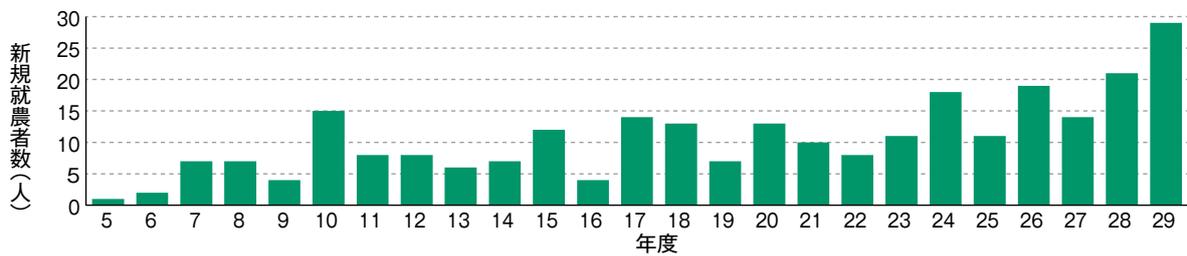
2 岡山県の新規就農者 年齢別 (H25~H29年の5カ年)



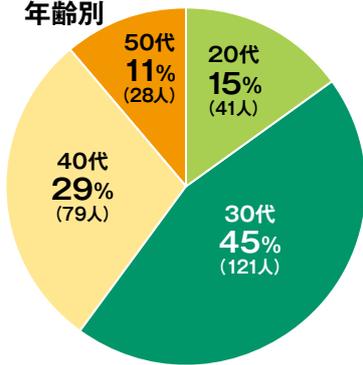
3 岡山県の新規就農者 作目別 (H25~H29年の5カ年)



4 新規就農研修による就農者数



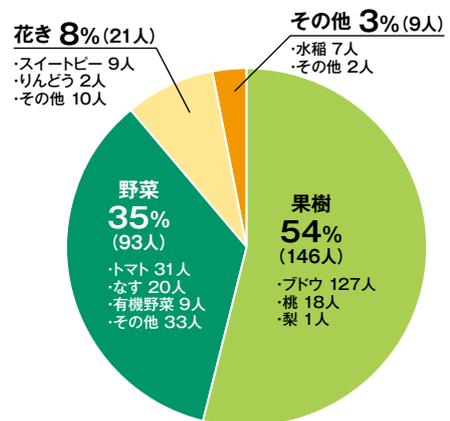
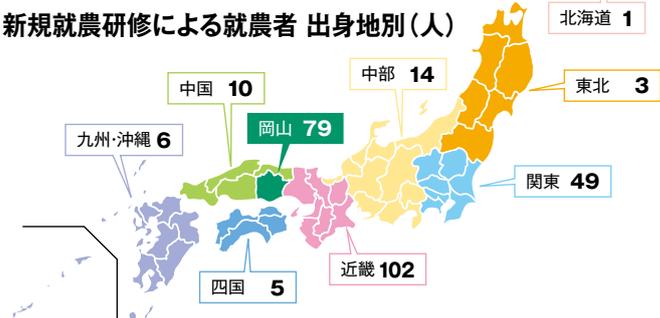
5 新規就農研修による就農者 年齢別



6 新規就農研修による就農者 作目別(人)

作目名	果樹	野菜	花き	その他
人数	146	93	21	9
内容	ブドウ 127 桃 18 梨 1	トマト 31 なす 20 有機野菜 9 その他 33	スイートピー 9 りんどう 2 その他 10	水稲 7 特用作物 2

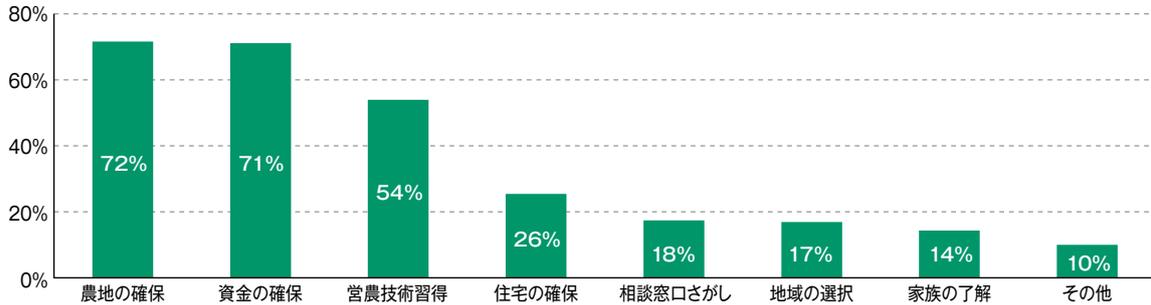
7 新規就農研修による就農者 出身地別(人)



※H29年度末までの実績

1 就農時に苦労した点

図 就農時に苦労したこと(3つまでを順位づけ選択で回答、対象は新規参入者)



2 農地の取得

表 就農1年目の農地の経営面積、借入面積(新規参入者)

販売金額第1位の作物	経営面積(A)	借入面積(B)	借入割合(B/A)
水稻・麦・雑穀類など	148.3	138.5	93.4
露地野菜	76.6	72.9	95.2
施設野菜	47.7	43.6	91.3
花き・花木	40.0	29.1	72.7
果樹	67.8	59.7	88.1
酪農	3748.5	1329.7	35.5
その他畜産	141.1	101.0	71.6
その他	62.8	60.2	95.9

単位：a、%

3 資金の確保

表 就農時の資金借入の状況

販売金額第1位の作物	資金を借り入れた	資金の借入先						
		制度資金				民間資金		
		青年等就農資金※	経営体育成強化資金	農業近代化資金	その他	農協	銀行	その他
新規参入者計	42.6	56.1	4.7	4.1	8.1	12.9	5.0	9.0
水稻・麦・雑穀類など	41.1	61.3	4.0	9.3	14.6	22.7	10.7	12.0
露地野菜	28.1	65.4	5.5	2.8	5.6	12.0	8.3	18.4
施設野菜	61.1	75.0	7.5	6.9	10.8	15.8	3.6	9.2
花き・花木	57.1	64.4	4.4	11.1	11.1	24.4	6.7	6.7
果樹	34.4	64.5	9.1	2.7	10.9	14.5	6.4	9.1
酪農	96.3	95.8	4.2	0.0	16.7	25.0	0.0	0.0
その他畜産	53.8	57.1	0.0	0.0	19.1	23.8	0.0	19.0
その他	38.5	52.6	0.0	0.0	15.8	0.0	21.1	15.8

※就農支援資金利用者含む

単位：%

4 技術の習得

(1) 研修先

表 研修の受入主体(中心となった研修先)

	一般農家	農業法人	市町村	市町農業公社	農協	農業大学校	就農準備校	職業訓練校	海外	その他
新規参入者計	59.9	9.3	2.8	3.7	2.8	11.6	3.4	1.8	0.5	4.2

(2) 研修に必要な期間

表 実際の研修期間と必要な研修期間

	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	不明
実際の期間	2.9	8.3	43.3	32.1	12.3	1.1
必要な期間	2.2	4.2	38.8	34.9	18.0	1.9

出典：新規就農者の就農実態に関する調査結果(平成28年度)
一般社団法人全国農業会議所、全国新規就農相談センター

現在利用している農地の情報はどのように探しましたか？

- 受入指導農家からの紹介や研修地域で離農される方や栽培規模を縮小される方の園地を借りる事ができた。
- 就農する農地はある程度決まっていたが、たまたま高齢でリタイアされる方がおられ、研修後その方の成園（果実が収穫できる果樹園）を借りた。
- 地域、JA、市の協力で造成された農地を借りて始めた。

（新規就農研修制度を活用した方の意見）



研修制度を利用していない方はどのように農地を探しましたか？

- 農地中間管理機構を通じて農地を借りた。
- 祖父の園地を引き継いで就農した。
- 住んでいる地域の人脈を活かして地域の方から紹介を受けた。

就農後はどのように規模拡大しましたか？

- 農地中間管理機構を活用して農地を借り、規模を拡大した。
- 就農後は、地域の方から直接声をかけてもらう機会が増え、農地を借りている。



農地の情報は、受入指導農家や産地の方など地域の方から紹介されることが多いようです。また、しっかりとした栽培管理をすることで規模拡大も比較的スムーズに進むといった意見もありました。優良農地を確保するためには、地域の方との信頼関係を築くことが重要です。



初期投資（施設や機械類の購入）の資金はどのように調達しましたか？

- 初期投資の機械類は自己資金で整備したが、規模拡大の際は制度資金を活用した。
- ハウスや果樹棚などの施設は補助事業と制度資金を活用して購入した。
- 中古物件の購入は自己資金を充て、新設する施設等は制度資金を活用した。

初期投資を抑えるために工夫したことは何ですか？

- 軽トラ、運搬車は地域の方から安く譲ってもらった。
- 中古農機を購入した。
- 乗用草刈り機は地域の農家と共同利用している。
- 農機会社クレジットで購入した。



資金の確保については、自己資金を確保しておくことが必須ですが、中古農機など比較的安価なものは自己資金で、高額な施設や機械は補助事業や制度資金を利用しているケースが多いようです。中古機械の購入の際には、機械の程度をよく確認することや信頼できる業者から購入することが大切です。